

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、16～22℃台を示し、平年並み～やや低い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網—西彼地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週の4倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり2トンの水揚げ（前年並み）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり13トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり3トンの水揚げ（前年を上回った）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり13kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり2.1トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり33kgの水揚げで、前週の1.8倍（前年並み）。壱岐勝本地区では1日当たり585kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- 定置網——五島魚目地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり85kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり140kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マアジなどが1日1統当たり177kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、イサキなどが1日当たり366kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり11kgの水揚げで前週の61%（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（4/29～5/10の12日間）沖合イカ釣（船凍船）は、切揚中。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～兵庫沖～能登半島沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）1日延1隻、総計54箱。スルメイカを漁獲、魚体は20～30入り。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>